

SOUTH MIYAGI MEDICAL CENTER

看護部紹介



患者さんに寄り添い 温もりのある看護を大切に…



けん なんちゅう かくびょういん
みやぎ県南中核病院
South Miyagi Medical Center





看護師本来の力を伸ばしたい

みやぎ県南中核病院 看護部長 佐藤 睦子

私たちは「患者さんに寄り添い温もりのある看護」を大切にしています。

看護職として一人一人の「気づき」の芽を大事に、患者さんに寄り添うということを考えながら成長できるよう、育てていきたいと考えています。

急性期看護では様々な診療科の疾患と刻々と変化する患者さんの状態を的確にアセスメントし対応する力、同時に、生命の危機や障害に対する心のケアが求められます。また、がん治療などでは、治療と共に一人一人の生活スタイルに合わせた全人的な緩和ケアも求められます。

専門分化されたケアではなく、看護師本来のジェネラリストとしての力を伸ばし、発揮できる環境が当院にはあります。

看護師本来の力を伸ばすために、認定看護師などの専門性の高い能力を活用し「気づく力」を伸ばせるよう育成しています。たくさん気づきをケアに結びつけていけるよう一緒に成長しましょう。

病院理念

地域に信頼される、質の高い、親切的な医療サービスを提供する



看護本来の力を伸ばすために！！

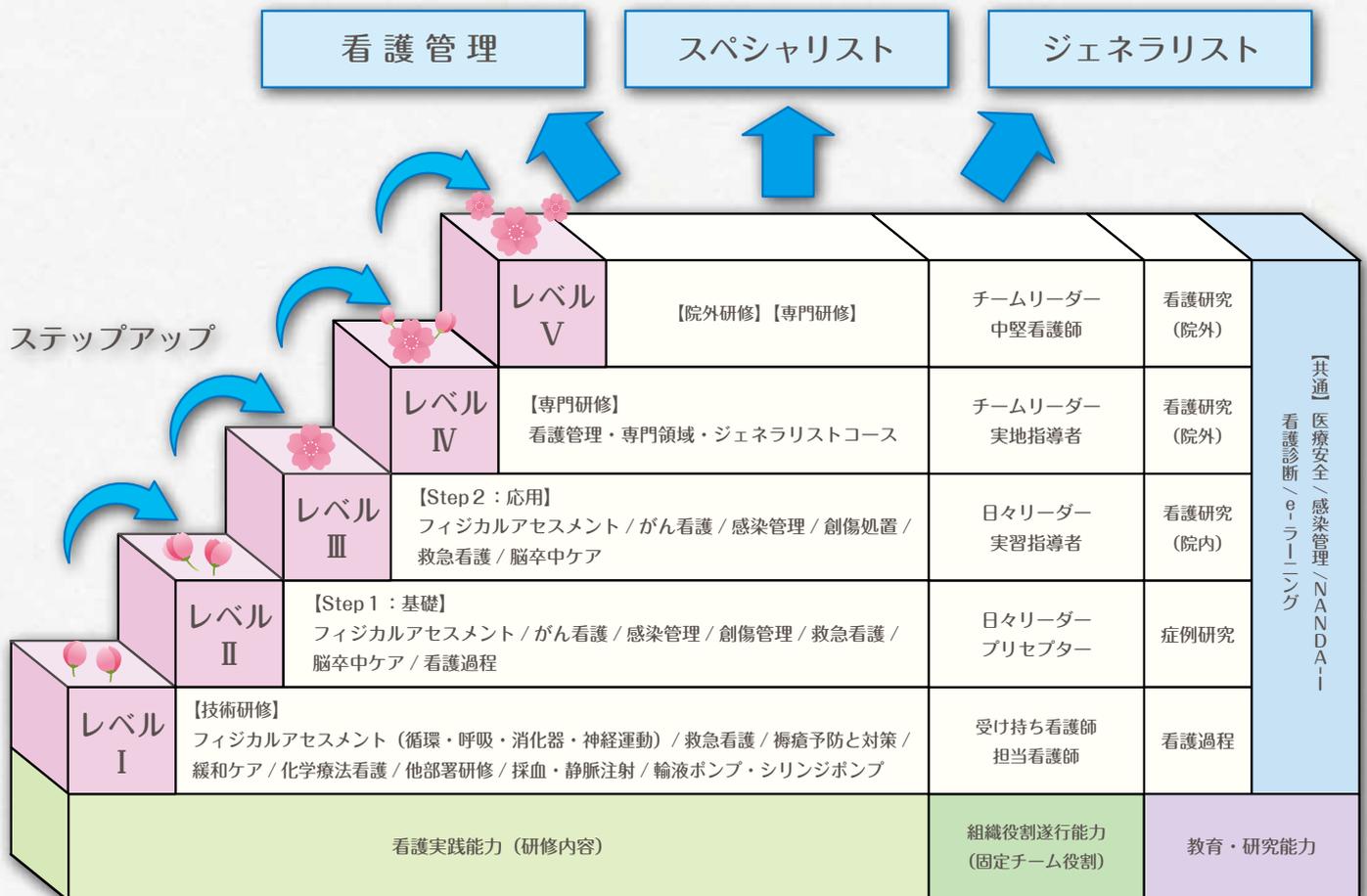
看護部教育理念

看護部の理念に基づき、安全で質の高い親切な看護を提供できる看護師を育成すると共に、個々の自己開発を支援する。

教育方針

- ① 患者に信頼される、安全で質の高い看護を提供できる看護職員を育成する。
- ② 個々の学習ニーズと目標を尊重し、専門職業人としての成長発達を支援し知識・理論・技術が統合できるような教育環境を提供する。
- ③ 看護実践を通して各個人が主体的に自己開発を行い、それらを臨床で発揮できるよう支援する。

教育計画



看護師本来の力を伸ばせる芽を育てる



Point
1

技術研修は「看護師としての知識と技術」が身につく内容を一年かけ学びます

Point
2



1年目 ラダーレベルⅠ

4月

活動・休息援助技術
技術研修Ⅲ
フィジカルアセスメント（基礎編）
技術研修Ⅱ
採血・点滴注射
技術研修Ⅰ
オリエンテーション

1ヶ月の振り返り

5月

薬剤等の管理
管理的側面研修Ⅰ
輸液ポンプ・シリンジポンプ
技術研修Ⅴ
フィジカルアセスメント（循環器・呼吸器編）
技術研修Ⅳ

6月

褥瘡予防と対策
技術研修Ⅵ
フィジカルアセスメント（神経・運動器編）
技術研修Ⅶ
プリセプティ・プリセプター合同研修

7月

夜勤準備研修
物品・コストの管理
管理的側面研修Ⅱ

3ヶ月の振り返り

8月

情報管理（看護過程①）
管理的側面研修Ⅲ
救急看護
技術研修Ⅷ
管理的側面研修Ⅳ



↑1年間はバッジをつけて。
皆がサポートするから安心してね！

Point
5

部署で経験できなかった基礎的技術を手術室、透析室、ICUなど他部署研修で経験します



急性期看護に必要なフィジカルケア・心のケア力を育成し、気づきを大切にした看護をめざします

認定看護師による実践レベルでの研修を企画し、アセスメント力の向上を目標にしています



Point 3

部署ではプリセプティとプリセプターら指導者が一緒に処置を行います



Point 4

各部署では技師はじめ多くの職種との連携によりチーム力を高めま



修了式 —頑張りました—



ナラティブメッセージ

わたし達の大事にしている看護を伝えます

患者さんに寄り添い温もりのある看護を大切に……
わたし達の「気づき」の看護実践



看護師として 働く上で大切にしていること

救命救急センターICU 小林 ひかり

新卒で当院に就職し、2年目まで外科病棟で看護技術や最新の知識について学びながら勤務し、3年目からICUへ異動となりました。ICUでは、これまでよりも重症な患者さんに向き合い、また様々な医療機器について学ぶことの多い日が続いています。私の看護師としての理想は、「患者さんだけでなく、患者さんのご家族にも寄り添うことのできる看護師」です。これは就職前から看護師4年目となった現在も変わっていません。急性期においては救命処置や治療が優先され、目まぐるしく展開が変わることも珍しくはありません。その中で、不安を抱えている患者さんご家族に対して、看護師として思いを傾聴し、少しでも不安を軽減することができれば良いと思っています。また、ICUでは意識状態の悪い方が多く意思表示ができない状態でも、看護師として患者さんの表情やバイタルサインなどからアセスメントを重ね、苦痛の緩和ができるよう援助していきたいと考えています。

日々の患者さんやご家族との関わりを大切にするとともに、知識や技術などの学びをさらに深め、患者さんやご家族に寄り添ったより良い看護ケアができるよう、これからも努力していきたいと思っています。



重症の患者さんを前に 私たちにできること

救命救急センターICU 集中ケア認定看護師 濱野 真生子

私は現在、ICUで勤務しています。私が出会った患者さんの中に、40歳代でも膜下出血を発症した患者さんがいました。意識障害があり全身状態が悪く、急変する可能性が非常に高い状態でした。ご家族は突然の事に動揺が大きく医師の説明も理解出来ないほど混乱していました。ご家族はベッドサイドで涙を浮かべながら「昨日までは普通に生活していたの。朝に私が声をかけていけば、いつも声をかけているのに今日は声をかけなかった。」そんな自責の念に押しつぶされそうになっているご家族が、刻一刻と変化する病態の中で今後の治療方針を決めなければならないのです。私は戸惑うご家族にどう声をかけるべきか悩みました。チーム医療を行っていくうえで、中心にいる患者さんやご家族が取り残されたまま治療を進めてはいけないと考え、主治医や他科の医師も交えカンファレンスを行いました。そして、ご家族と医療者が何度も話し合いを行う中でご家族は少しずつ現状を受け入れ、患者さんと向き合う事が出来るようになりました。生命の危機的状態にある患者さんに対する看護はもちろんですが、ご家族へのケアもICUではとても重要なことです。

重症な患者さんを前に私はいつも「当たり前の日常こそが幸せである」ということに気付かされます。ICUという場所で命と向き合いながら、患者さん・ご家族にいつも寄り添った看護ができるよう、日々奮闘しています。



多角的なアプローチによって 患者さんの全体像を把握する

2階病棟 山田 大輔

私が所属する2階病棟は、発症まもない、急性期で意識レベルが変化しやすい状態の患者さんが入院しています。意思疎通が図れない患者さんも多いため、多角的なアプローチによって患者さんの全体像を把握する技術が必要になってきます。また、患者さん本人だけではなく家族の不安や受け止めに対して寄り添う看護を心がけています。

急性期であっても退院後の生活を見据えた日常生活の援助や社会支援の提案も行っていくことも重要となってきます。日々の看護業務はケアが非常に多く多忙となりますが、患者さんが治療に向けて取り組む姿や、実際に良くなっていく過程の手助けとなっていることが大変に実感できていく機会が多いため、とてもやりがいのある職場だと感じています。

また、私は災害派遣医療チーム（DMAT）の一員としても活動しています。震災や洪水だけでなく、高速道路での多重事故等でもDMATが出動し活動しています。自然災害が多い日本では、近い将来甚大な被災を受ける可能性が高い状況にあります。災害現場での医療や看護は、人員や医療資源の少ない中、その場での判断が求められます。そのため、定期的に全国各地で開催されている実働訓練や研修に参加し、いつでも出動できるようにしています。



マネジメントの 立場から見えてきた看護

4階西病棟 主任看護師 鈴木 しのぶ

私は患者さんが身体的、精神的苦痛がなく、清潔な環境で安心してケアを受けられることが望ましい看護と考えています。そのためにはケアを通して常に患者さん・ご家族の思いに寄り添い、一緒に考える事を大事にしています。

ある患者さんが入院された時のこと。長い間、家族が自宅で介護をされており、患者さんから最期は自宅で過ごしたいと家族に話されていましたが、家族は自宅で最期を迎えることに不安をもたれていました。しかし、入院中の患者さんが日頃、医療スタッフへ話をされていたことを家族へ伝えると、家族は、「希望を叶えてあげたいがどうしたら良いか」と相談をされるようになりました。その時には患者さん本人からの意志を確認できる状態ではありませんでしたが、家族の思いを第一に考え、家族が不安としていたこと一つ一つを解決し自宅へ退院され最期を迎えられました。

主任看護師として、患者さんの一番近くにいる看護師が患者さんの思いを聴き、共有し、医療チームでの調整役としての役割が発揮できるようアドバイスをしています。看護師1人1人が同じ目標に向かって努力できる環境を整え、評価を共に分かち合える、そんな関係作りがより良い看護へ繋がると考え日々努力しています。



アクセス

- 東北道村田インターより 15分
- JR 大河原駅より
宮交バス川崎線 7分
または徒歩 30分
- 4号線バイパスより
県道亘理大河原川崎線村田方面へ
1つ目の信号左折



病院概要

診療科：内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、糖尿病代謝内科、腎臓内科、脳神経内科、小児科、外科、消化器外科、形成外科、脳神経外科、産婦人科、皮膚科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、救急科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科口腔外科 等 31科

病床数：310床

看護部概要

看護部理念：医療チームの一員として生命の尊厳と人間性を尊重し、患者の個別性を生かした継続看護をめざす

- 看護部方針・目標：**
1. 専門職業人としての倫理観をもち、患者個々のニーズに沿った看護を提供する
 2. 患者に安全で質の高い看護を提供するため、常に看護の評価を行い自己研鑽に努める
 3. 科学的根拠に基づいた看護過程を実践する
 4. 患者の声に耳を傾け、笑顔で温もりのある看護を提供する

福利厚生



看護師専用の借り上げアパート「スピカ」



けん なんちゅう かくびょう いん
みやぎ県南中核病院
South Miyagi Medical Center

〒989-1253 宮城県柴田郡大河原町字西 38 番地 1

TEL : 0224-51-5500 (代表)

FAX : 0224-51-5515

<http://www.southmiyagi-mc.jp>

詳しくは

みやぎ県南中核病院

検索